

2019年9月4日

アクションプランの取組状況

当社は、地域の皆様のご理解とご協力を得て、平成31年4月に8線区でアクションプランを策定し、地域の皆様とともに具体的取組を進めています。

線区別収支の公表にあたり、第1四半期を含む5ヵ月間に地域の皆様と進めてきた具体的取組をご紹介します。

これまでの地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

当社は、今後も地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、地域の皆様と一体となって線区の活性化に取り組んでまいります。

1. 取組状況について

- アクションプランは、当社と地域の皆様が一体となって線区を維持する気運の醸成を図ることを目的としています。
- いずれの線区もアクションプランに記載した具体的取組が着実に進んでいます。
- 各線区でこうした取組が進んでいることに深く感謝を申し上げます。
- 基本指標は様々な変動要素が関わるものですが、釧網線、花咲線、日高線で昨年度第1四半期の輸送密度を上回りました。
- 引き続きアクションプランを着実に進め、線区を維持する気運の醸成に取り組んでまいります。

2. 主な取組事例について（別紙をご参照ください）

【日常利用】

- マイレール意識の醸成（石北線、富良野線など）
- 通学定期券の助成（日高線）

【観光利用】

- お客様にお越しいただく施策の展開（釧網線、花咲線、宗谷線、富良野線など）
- お祭り・イベントの際の鉄道利用の働きかけ（石北線、根室線、室蘭線など）

8線区のアクションプランについて

- 平成30年7月国土交通省は当社に監督命令を発出しました。その中で「利用が少なく鉄道を持続的に維持する仕組みの構築が必要な線区」について、平成31年度及び32年度を「第1期集中改革期間」として、当社と地域の皆様が一体となって、利用促進やコスト削減などに取り組み、持続的な鉄道網の確立に向け、あるべき交通体系について徹底的に検討を行うことが求められました。
- これを受け、関係の皆様のご理解とご協力を得て、8線区ごとに事業計画（アクションプラン）を策定いたしました。
- 計画された具体的取組を着実に実行するため、8線区ごとに「アクションプラン実行委員会」を設置し、当社と地域の皆様が利用促進や経費節減に一体となって線区の維持活性化に努めているところです。

※ アクションプランについては当社ホームページに掲載していますのでご参照ください。

釧網線(釧路～網走間)

オホーツク SEA TO SUMMITで臨時列車を運転

(6月23日撮影・浜小清水駅)



網走で開催された「SEA TO SUMMIT」のコースに釧網線を組み込んでいただきました。6月23日は専用臨時列車を運転し大会参加者と関係者約130名にご乗車いただきました。列車内では観光ボランティアがアナウンスを行いました。

関係の皆様と「観光型MaaS」の取組推進

(8月19日撮影・摩周駅)



WILLER(株)、関係自治体、地域の事業者、当社が協力して「ひがし北海道ネイチャーパス」を発売し、釧網線から沿線観光資源にシームレスにつながる「観光型MaaS」に取り組んでいます。

花咲線(釧路～根室間)

「地球探索鉄道花咲線」夏の取組を開始

(7月13日撮影・根室駅)



7月13日「地球探索鉄道」夏の取組を開始しました。9月16日までの土日祝日1往復の列車を1両増結するとともに、根室駅からねむろ半島遊覧バスとの接続・連携に取り組んでいます。引き続き「普通列車を観光列車にする取組」も行っています。

お祭りにあわせヘルシーウォーキング開催

(5月18日撮影・厚岸駅)



5月18日「あけし桜・牡蠣まつり」にあわせ、厚岸駅・まつり会場・観光名所等をめぐる「JRヘルシーウォーキング」を開催しました。JRをご利用の約60名がウォーキングに参加されました。

石北線(旭川～網走間)

遠軽町で石北線線路維持に関するフォーラムを開催

(6月26日撮影・遠軽町)



6月26日、遠軽町で鉄路維持に関するフォーラム「みんなで守ろう！石北本線」が開催され、町内外から約150名が参加しました。石北線の維持に向けてすべきこと、観光面での利用促進などが討議されました。

上川町でヘルシーウォーキングを開催

(7月21日撮影・上川駅)



7月21日、上川町で「JRヘルシーウォーキング」を開催しました。当日は北海道日本ハムファイターズと上川町のキャラクターがお出迎えし、JRをご利用の約80名がウォーキングに参加されました。

宗谷線(旭川～稚内間)

首都圏で「風っこ そうや」号のPR実施

(7月12日撮影・横浜駅)



7月11日上野駅、7月12日横浜駅で「風っこ そうや」号のPRキャラバンを実施しました。地域の皆様から「風っこ そうや」号や沿線の観光パンフレットを計2,600セット配布し、宗谷線沿線観光のPRを行いました。

風っこ そうや号のお客様へおもてなし

(7月28日撮影・南稚内駅～抜海駅間)



7月28日、稚内～音威子府間で「風っこ そうや」号の運行が始まりました。停車駅や車内で特産品の販売やご当地キャラのお出迎えなど趣向を凝らしたおもてなしを実施しました。沿線では手を振って列車をお見送りしました。

富良野線(富良野～旭川間)

今年も「富良野・美瑛キャンペーン」を展開

(7月12日撮影・ラベンダー畑駅)



花々やパッチワークの風景をお楽しみいただくため、今年も6月から「富良野・美瑛キャンペーン」を展開しています。臨時駅「ラベンダー畑駅」の設置や観光列車の運転など、地域の皆様と利用促進に取り組んでいます。

旭川でJRこども見学ツアーを実施

(7月27日撮影・旭川運転所)



7月27日、富良野線沿線の小学生を対象とした「JRこども見学ツアー」を実施しました。一行約20名が旭川駅と旭川運転所を見学しました。

根室線(滝川～新得間)

滝川駅でお祭りにあわせた臨時観光案内所の設置

(5月18日撮影・滝川駅)



「たきかわ菜の花まつり」に合わせ、5月16日～22日、滝川駅待合室内に期間限定の案内所を設置しました。JRを利用して滝川駅にいられたお客様にイベント内容やアクセス等をご案内しました。

富良野駅に「花ポット」を設置

(7月25日撮影・富良野駅)



ふらの観光協会・富良野建設業青年会により、富良野駅前のロータリーに花壇を整備しました。ポットには、富良野市の特産品であるワイン樽を使い、ラベンダーを中心とした花々をベストシーズンに合わせて植え、国内外から訪れる観光客をお出迎えています。

室蘭線(苫小牧～岩見沢間)

早来駅でお祭りクーポン券を配布

(7月6日撮影・早来駅)



7月6日～7日、安平町「あひら夏!うまかまつり」にあわせ、JRをご利用の来場者限定として、お祭り会場で使えるクーポン券を早来駅にて約190枚配布し、JRの利用促進を図りました。

お祭りにあわせ列車を増結

(4月13日撮影・栗山駅)



4月13日～14日、「くりやま老舗まつり」にあわせ、一部列車の車両を増結し多くのお客様にJRをご利用いただきました。ポスターやチラシにも列車時刻を掲載するなどJRの利用促進に取り組みました。

日高線(苫小牧～鶴川間)

定期券助成で列車通学に切替

(7月10日撮影・鶴川駅)



むかわ町は、2019年度から北海道鶴川高校に対する苫小牧市内からのスクールバスを取りやめ、JR定期券の助成を開始しました。これにより同校生徒のJR通学者が約70名増加しました。

保育園児が苫小牧駅を見学

(8月2日撮影・苫小牧駅)



8月2日、苫小牧市内の保育園児(一行約20名)が遠足の一環として苫小牧駅を訪れました。券売機や自動改札機の仕組みを見学。普段入ることのない駅の裏側をご覧いただきました。